

2026年2月27日

報道関係者各位

**横浜国立大学とIJTT、城ヶ島・真鶴海域で藻場再生実験区を追加設置
— 相模湾の磯焼け対策に向けた実証を加速 —**

国立大学法人横浜国立大学（神奈川県横浜市保土ヶ谷区、学長：梅原 出、以下横浜国立大学）と株式会社IJTT（本社：神奈川県横浜市神奈川区、代表取締役社長：瀬戸 貢一、以下IJTT）は、2月12日（木）に城ヶ島海域、2月16日（月）に真鶴海域において、藻場再生に向けた実験区を追加設置しました。

両者は昨年7月より、神奈川県まち・ひと・しごと創生基金 科学技術政策大綱推進事業の一環として、相模湾における藻場再生技術の実証研究を進めています。今回の追加設置は、前回の実証で得られた知見を踏まえ、より実践的な藻場再生モデルの構築を目指す取り組みです。



■背景

相模湾では、海水温の上昇、藻食生物の増加、海水の貧栄養化などが重なり、藻場の衰退・消失（磯焼け）が深刻化しています。藻場は水産資源の生息場であると同時に、二酸化炭素の吸収源としても重要であり、その再生は地域の喫緊の課題です。横浜国立大学とIJTTは、産学官連携のもと、科学的根拠に基づく藻場再生手法の確立と社会実装を目指して研究を進めています。

■今回の実証実験概要

今回追加設置した実験区では、以下の取り組みを実施しました。

- ・城ヶ島（2/12）、真鶴（2/16）に前回と同一地点に、形状の異なる資材を追加設置
- ・3種類の資材を比較（鈹さい、ミネラル添加鈹さい、通常コンクリートプレート）
- ・対象海藻類は、冬が生育期となるカジメ

横浜国立大学が海域環境調査、海藻の生育分析、食害生物の影響評価などを継続的に行い、藻場再生モデルの確立を目指します。IJTTは提供する鈹さい素材を活用したブロックを海域に設置し、海藻類の着生・成長促進や無機栄養塩の溶出効果を検証します。

【今回新たに追加した現場海域の設置状況】



設置前(3種類の資材)



海中への設置状況

■展望

今後は、継続的なモニタリング調査を通じて、基盤素材の効果や海藻類の成長状況を継続的に評価します。これらの取り組みにより、相模湾における最適な藻場再生手法の確立を図るとともに、他地域への展開やブルーカーボンクレジット創出など、社会実装に向けた取り組みをさらに推進してまいります。

■横浜国立大学の果たす役割

横浜国立大学は、学術的知見と地域実装をつなぐ中核的な役割を担います。海洋環境・海洋生態系に関する最先端の研究成果を基盤に、現地調査、モニタリング、データ解析を通じて科学的根拠に基づく計画立案と効果検証を行います。また、本学の地域連携推進機構、臨海環境センターの参画によって自治体、地域団体、民間企業との産学官民連携を推進し、地域課題の解決に向けた協働体制を構築します。さらに、教育・人材育成と実践的研究を一体化させることで、持続可能な地域づくりと次世代の環境人材育成の両立を図ります。

■IJTT の果たす役割

IJTT では、鋳造工程で発生する鋳さいを環境負荷の低い形で再資源化するため、海域での安定性、海藻類の着生性、無機栄養塩の溶出特性などを考慮した基盤素材の設計・開発を進めてきました。

今回の実験区に設置したブロックは、

- ・鋳さいの特性を活かした海藻類の成長促進
- ・海域環境に応じた形状・重量設計
- ・将来的な港湾資材としての応用可能性

などを踏まえて開発されたもので、IJTT が推進する資源循環型のものづくりの一環として位置づけられています。

■横浜国立大学概要

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に 1949 年に新制大学として設立した One Campus に 5 学部・6 大学院を有する総合大学です。2024 年に創基 150 周年・開学 75 周年を迎えました。「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」「多様性」を理念として掲げ、多様な学術知・実践知を動員し、地球規模の課題に向き合う「世界水準の研究大学」を目指しています。

大学名：国立大学法人横浜国立大学

HP：<https://www.ynu.ac.jp/>

代表者：学長 梅原 出

所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 1 号

■IJTT 会社概要

IJTT は、鋳造、鍛造、エンジン製造の分野で長い歴史を持ち^{※4}、主に自動車部品、建設機械部品、産業用エンジン等の製造を通じて日本の産業発展に貢献してきました。現在では、素材開発から完成品製造までを一貫して行える技術力を活かし、産業用ロボット分野へも進出。次世代の製造現場に求められる高精度・高耐久な部品供給を可能にし、スマートファクトリー化の推進にも寄与しています。

※4 IJTT は、それぞれ 100 年近い歴史を持つ株式会社アイメタルテクノロジー、自動車部品工業株式会社、テーデーエフ株式会社と IJTT テクノロジーホールディングス株式会社が 2019 年に統合して誕生しました。

社名：株式会社 IJTT

HP：<https://www.ijtt.co.jp/>

代表者：代表取締役社長 瀬戸 貢一

本店所在地：神奈川県横浜市神奈川区金港町 1 番地 7 横浜ダイヤビルディング 18 階

事業内容：輸送用機器製造業

創立年月日：2013 年 10 月 1 日

売上高：156,195 百万円（2025 年 3 月期 連結）

従業員数：4,619 名（2025 年 3 月期 連結）

■本件に関する問い合わせ

<横浜国立大学>

・研究に関する問い合わせ先

横浜国立大学 大学院環境情報研究院 助教 高山佳樹

Email：takayama-yoshiki-fb@ynu.ac.jp

- ・報道等に関する問い合わせ先
横浜国立大学 総務企画部 リレーション推進課
Email : press@ynu.ac.jp
電話番号 : 045-339-3027

<株式会社IJTT>

- ・報道等に関する問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
電話番号 : 045-777-5560 (代表)
Email: info-ijtt@ijtt-jp.com